日本産広腰亜目 (膜翅目) の食草 (II)¹

奥 谷 禎 一

兵庫農科大学昆虫学研究室

(1967年4月4日受領)

Food-plants of Japanese Symphyta (II). Teiichi OKUTANI (Entomological Laboratory, Hyôgo University of Agriculture, Sasayama, Hyôgo-Pref.) *Jap. J. appl. Ent. Zool.* 11: 90—99 (1967)

Food-plants of the family Tenthredinidae so far known at present were listed herein, continued from the previous paper. The plants observed by the author or reliably recorded were given in scientific names, and the plants for new records were shown with an asterisk. The synonym concerning three species were newly arranged.

第1報に引き続いて今回は第2報としてハバチ科の食草目録を報告する。なお2種のシノニムと1種の学名変更をあわせて記載した。植物学名に付した*は新記録の食草を,**は筆者の確かめ得たものを示す。

TENTHREDINIDAE ハバチ科

Selandriinae シダハバチ亜科

1. *Strongylogaster blechni* TAKEUCHI, 1941 ナカアカシダハバチ
Pentarhizidium orientale HAYATA イヌガンソク**
原記載のシシガシラは誤りである。
2. *S. lineata* (CHRIST, 1791) ナガワラビハバチ
Pteridium aquilium KUHN ワラビ**
ヨーロッパでもワラビを食う。
3. *S. moiwanus* MATSUMURA, 1912 モイワハバチ
Coniogramme japonica DIELS* イワガネソウ**
OKUTANI (1954) のクサソテツはハバチの同定の誤りである。
4. *S. onocleae* TAKEUCHI, 1941 クサソテツハバチ (新称)
Matteuccia Struthiopteris TADARO* クサソテツ**
原記載のイヌガンソクは誤りである。

5. *S. osmundae* (TAKEUCHI, 1941) ゼンマイハバチ
Osmunda japonica THUNB. ゼンマイ**
6. *S. secundus* (TAKEUCHI, 1929) ナガゼンマイハバチ
Osmunda japonica THUNB. ゼンマイ**
他に *S. ficicis* (KLUG) はヨーロッパではワラビを食うと記されているが、わが国では確認されていない。
7. *Hemitaxonus japonicus* ROHWER, 1910 トガリシダハバチ
Dryopteris lacera O. KUNTZE クマワラビ**
TAKEUCHI (1941, 1949) のイヌガンソクは誤りで近似の別種と思われる。
8. *H. minomensis* TAKEUCHI, 1929 シケシダトガリハバチ** (新称)
Athyrium japonicum COPEL.* シケシダ**
OKUTANI (1954) のミゾシダはシダの同定誤りであり、TAKEUCHI (1949), 奥谷 (1959) のイヌワラビは近似の別種である。
9. *H. sasayamensis* OKUTANI, 1954 シシガシラハバチ (新称)
Blechnum nipponica MAKINO シシガシラ**
10. *H. struthiopteridis* (FORSIUS, 1910) ヒメクサソテツハバチ (新称)

1 広腰亜目の研究 XXV

Matteuccia struthiopteris TADARO* クサソテツ**

本種は MALAISE (1931) および TAKEUCHI (1941) により *H. japonicus* ROHWER の異名同物と考えられたが、明らかに別種である。ヨーロッパでもクサソテツを食う。なお *H. paucipunctatus* MALAISE もクサソテツを食うらしい。なお本属のハバチは非常によく似ているので、同定はかなり困難である。

11. *Stromboceros koebelei* ROHWER, 1910 ケーベルハバチ

Polystichum triperon PRESL ジュウモンジシダ**

本種は非常に分布が広いので、他のシダ類も食うと推定されるが、詳細は不明である。

12. *Neostromboceros sinanensis* TAKEUCHI, 1941 シケシダハバチ

Athyrium japonicum COPEL. シケシダ**

13. *Aneugmenus japonicus* ROHWER, 1910 キバラワラビハバチ

Pteridium aquilium KUHN ワラビ**

14. *A. kiotonis* TAKEUCHI, 1929 ワラビハバチ

Pteridium aquilium KUHN ワラビ**

15. *A. maculatus* TAKEUCHI, 1929 キモンワラビハバチ

Pteridium aquilium KUHN ワラビ**

16. *Melisandra carinifrons* (MALAISE, 1931) オカトラノオハバチ

Lysimachia clethroides DUBY オカトラノオ**

本亜科に属するもので、ヨーロッパより広く分布する *Heptamelus ochroleucus* (HALIDAY) について、シダ類数種に穿孔することがヨーロッパで知られているが、わが国では未知である。

Dolerinae スギナハバチ亜科

17. *Dolerus ephippiatus* SMITH, 1874 オオムネアカハバチ

Hordeum vulgare L. オオムギ; *Triticum aestivum* L. コムギ; *Secale cereale* L. ライムギ; *Agropyron* spp. カモジグサ類 (*A. kamoji* OHWI カモジグサ; *A. ciliare* FANCHET アオカモジグサ); *Dactylis glomerata* L. カモガヤ (オーチャード); *Phleum pratense* L. オオアワガエリ (チモシー); *Phalaris arundinacea* L. クサヨシ; *Alopecurus aequalis* SOBOL. var. *amurensis* OHWI スズメノテッポウ; *Poa* spp. スズメノカタビラ類 (*P. annua* L. スズメノカタビラ;

P. nipponica KOIDZ. オオイチゴツナギ)

以上は五十嵐・伊藤 (1963) による。

18. *D. harukawai* WATERSTON, 1926 オオオスグロハバチ

Juncus effusus L. var. *decipiens* BUCH イ

素木 (1952) はシチトウイを記しているが、科が異なるので誤りと思われる。

19. *D. hordei* ROHWER, 1925 ムギハバチ

Hordeum vulgare L. オオムギ; *Triticum aestivum* L. コムギ

五十嵐氏談によると、もっと広くイネ科を食うという。

20. *D. japonicus* KIRBY, 1882 オスグロハバチ

Equisetum arvense L. スギナ**

本種の雌は温床のキク苗に産卵し、茎に傷をつくることから、1966年春に河戸朝雄氏によって観察された。

21. *D. umbraticus* MARLATT, 1898 スギナハバチ

Equisetum arvense L. スギナ**

22. *D. yokohamensis* ROHWER, 1925 フタホシハバチ

Poa annua L. スズメノカタビラ**

五十嵐氏談ではオオアワガエリなどもっと広くイネ科を食うという。

23. *Loderus eversmani obscurus* (MARLATT, 1898) ヒメムネアカハバチ

Equisetum arvense L. スギナ**

24. *L. vestigialis insulicola* (ROHWER, 1910) ニセヒメムネアカハバチ

Equisetum arvense L. スギナ**

Nematinae ネマツスハバチ亜科

25. *Hoplocampa pyricola* ROHWER, 1924 ナシミバチ
Pyrus pyrifolia NAKAI var. *culta* NAKAI ナシの幼果**

本属のものはバラ科の幼果に穿孔する。

26. *Priophorus cydoniae* (TAKEUCHI, 1922) ボケヒメハバチ

Chaenomeles japonica LINDL. クサボケ

27. *P. hyonosanus* OKUTANI, 1959 ブナヒメハバチ

Fagus crenata BLUME ブナ**

28. *P. nigricans* CAMERON, 1902 ヘビイチゴヒメハバチ

Duchesnea spp. ヘビイチゴ類 (*D. chrysantha* MIQUEL ヘビイチゴ**); *D. indica* FOCKE ヤブヘビ

イチゴ**)

29. *P. omogoensis* OKUTANI, 1959 クマイチゴヒメハバチ (新称)

Rubus crataegifolius BUNGE クマイチゴ**

30. *P. tener* (ZADDACH, 1895) キイチゴヒメハバチ**

Rubus parvifolius L. ナワシロイチゴ**

31. *Cladius pectinicornis* (GEOFFROY, 1785) クシヒゲハバチ

Rosa spp. バラ類 (*R. Banksia* R. BR. モッコウバラ** ; *R. multiflora* THUNB. ノイバラ** ; *R. hybrida* HORT. セイヨウバラ** ; *R. Wichuraiana* CREP. テリハノイバラ** ; *R. Luciae* FRANCH. et ROCHERBR. var. *Onoei* MOMIYAMA ヤブイバラ**)

他のバラ類も食うと思われる。ヨーロッパでもバラ類が記録されている。素木 (1952) のナナカマド、ハゴロモグサおよびエゾワレモコウは誤りである。

32. *Trichiocampus populi* OKAMOTO, 1912 ポプラハバチ

Populus spp. ポプラ類 (*P. niger* L. var. *italica* KOEHNE ポプラ** ; *P. grandidentata* MICHX.)

33. *T. pruni* TAKEUCHI, 1956 サクラヒメハバチ

Prunus yedoensis MATSUM. ソメイヨシノ**

他のサクラ類も食うと思われる。

素木 (1952) は *T. cannabis* TAKEUCHI アサハバチをあげているが、本種は未記載のままである。

34. *Hemichroa australis* (LEPELETIER, 1823) ハンノブチハバチ

Alnus spp. ハンノキ類 (*A. crispa* PURSH. subsp. *Maximowiczii* HULT. ? ミヤマハンノキ ?)

ヨーロッパではハンノキ類とカンバ類が記録されている。

35. *H. paramushirensis* TAKEUCHI, 1933 パラムシロハバチ (新称)

ミヤマハンノキを食うと推定されているが、まだ確実ではない。

36. *Stauronematus compressicornis* (FABRICIUS, 1804) サクツクリハバチ

Populus spp. ポプラ類 (*P. niger* L. var. *italica* KOEHNE ポプラ** ; *P. Sieboldi* MIQUEL ヤマナラシ**); *Salix alopechroa* KIMURA サイコクキツネヤナギ**

他のヤナギでは幼虫を発見してない。

37. *Pristiphora amelanchieris* (TAKEUCHI, 1922) シデザクラハバチ

Amelanchier asiatica ENDL. ザイフリボク**

38. *P. erichsoni* (HARTIG, 1837) カラマツハラアカハバチ

Larix leptolepis GORDON カラマツ

世界的にカラマツ類の害虫として知られる。

39. *P. politivaginata* (TAKEUCHI, 1933) カラマツコハバチ

Larix leptolepis GORDON カラマツ

40. *P. salicivora* (TAKEUCHI, 1922) ヤナギアカモンハバチ

Salix sp. ヤナギ

ヤナギの種名はわからない。

41. *P. thalictri* (KRIECHBAUMER, 1884) アキカラマツハバチ

Thalictrum Thunbergii DC. アキカラマツソウ**

ヨーロッパではカラマツソウが記録されている。

42. *P. wesmaeli* (TISCHBEIN, 1853) カラマツキハラハバチ

Larix leptolepis GORDON カラマツ**

ヨーロッパでもカラマツ類を食う。

素木 (1952) は *P. pallipes* (LEPLETIER) スグリハバチを記録しているが、スグリのものが本種であるかどうか疑わしい。

43. *Amauronematus fallax* (LEPLETIER, 1823) セグロヤナギハバチ

Salix sp. ヤナギ類 (*S. giligiana* SEEM. ? カワヤナギ ?)

富樫氏の私信によるとカワヤナギと思われるが、ヤナギの同定不正確とのことである。ヨーロッパでもヤナギ類が記録されている。

44. *Nematus alni* (ROHWER, 1910) ヒメセグロヒゲナガハバチ

Alnus spp. ハンノキ類 (*A. japonica* STEUD. ハンノキ**)

他種も食うと思うが、確認していない。

45. *N. japonicus* (MARLATT, 1898) メスアカハバチ

Alnus spp. ハンノキ類 (*A. japonica* STEUD. ハンノキ** ; *A. hirsta* TURCZ. var. *sibirica* SCHNEID. ヤマハンノキ**)

46. *N. luteus* (Päñzer, 1805) ハンノヒゲナガハバチ

Alnus spp. ハンノキ類 (*A. crispa* PURSH. subsp. *Maximowiczii* HULT. ? ミヤマハンノキ ?)

ヨーロッパでもハンノキ類を食う。

47. *Pontania bridgmanii* (CAMERON, 1883) ミネヤナ

ギタマハバチ

Salix reinii FR. et SAV.? ミヤマヤナギ?

ヨーロッパでもヤナギの1種に虫癭をつくる。なお本属について、素木(1952)、菊池(1939)および進士(1944)らが種名を与えているが、本邦産種で本種以外は確実に同定されたものはない。

48. *Croesus japonicus* TAKEUCHI, 1921 ヒラアシハバチ

Alnus spp. ハンノキ類 (*A. japonica* STEUD. ハンノキ** ; *A. hirsta* TURCZ. ケヤマハンノキ** ; *A. pendula* MATSUM. ヒメヤシヤブシ** ; *A. firma* SIEB. et ZUCC. ヤシヤブシ** ; *A. Inokumae* MURAI et KUSAKA コバノヤマハンノキ**)

49. *Nematus crassus* (FALLÉN, 1808) キアシヒゲナガハバチ

Salix spp. ヤナギ類 (*S. alopechroa* KIMURA サイコクキツネヤナギ** ; *S. gilgiana* SEEM. カワヤナギ** ; *S. gracilystyla* MIQUEL ネコヤナギ**)

ヨーロッパでもヤナギ類を食うことが報告されている。

50. *N. damnacanti* (TAKEUCHI, 1922) アリドオシハバチ

Damnathanthus indicus GAERTN. アリドオシ

素木(1952)はジュズネノキをあげているが、未確認である。

51. *N. okutanii* TOGASHI, 1965 オンタデハバチ(新称)
Polygonum Weyrichii FR. SCHM. var. *japonicum* MAKINO オンタデ**

富樫は原記載にオンタデを食うらしいと記しているが、筆者は飼育に成功している。

52. *Pachynematus imperfectus* (ZADDACH, 1875) ニセカラマツクロハバチ

Larix leptolepis GORDON カラマツ

ヨーロッパでもカラマツが報告されている。

53. *P. itoi* OKUTANI, 1955 カラマツアカハバチ

Larix leptolepis GORDON カラマツ**

近年ヨーロッパでもカラマツより発見された。

54. *P. nigricorpus* TAKAGI, 1931 カラマツクロハバチ
Larix leptolepis GORDON カラマツ

本亜科に属する *Eurra laeta* ZADDACH ヤナギコブハバチが素木(1952)によって記されているが、この種名は疑問である。

Blennocampinae マルハバチ亜科

55. *Athalia japonica* (KLUG, 1813) ニホンカブラハバチ

Arabis sp. ハタザオの1種 (*A. glabra* BERNH. ? ハタザオ?**) ; *Cardamine* spp. タネツケバナ類 (*C. flexuosa* WITHERING タネツケバナ** ; *C. impatiens* L. ジャニンジン**) ; *Rorippa indica* HIERON. イヌガラシ** ; *Raphanus sativus* L. ダイコン** ; *Brassica* spp. アブラナ類 (*B. campestris* L. subsp. *Rapa* HOOK. et ANDERS. カブ** ; *B. chinensis* L. var. *Komatsuna* MATSUM. et NAKAI コマツナ** ; *B. japonica* SIEB. var. *japonica* SCHULZ シャクシナ**) ; *Wasabia japonica* MATSUM. ワサビ**

広くアブラナ科を食うが、ここには筆者の観察のみをあげた。

56. *A. kashmirensis* BENSON, 1932 イヌノフグリハバチ

Veronica spp. クワガタ類 (*V. didyma* TENORE var. *lilacina* YAMAZAKI イヌノフグリ** ; *V. arvensis* L. タチイヌノフグリ** ; *V. persica* POIR. オオイヌノフグリ**)

素木(1952)の記したクワガタではまだ幼虫をみたことがない。

57. *A. lugens infumata* (MARLATT, 1898) セグロカブラハバチ

Rorippa indica HIERN. イヌガラシ* ; *Brassica* spp. アブラナ類 (*B. chinensis* L. var. *Komatsuna* MATSUM. et NAKAI コマツナ** ; *B. campestris* L. subsp. *Rapa* HOOK. et ANDERS. カブ**)

幼虫はイヌガラシに最も多くみられる。ヨーロッパの原種の食草は未知である。なお別亜種 *A. lugens proxima* KLUG もアブラナ科を食うことが知られている。

58. *A. rosae japonensis* ROHWER, 1910 カブラハバチ

Raphanus sativus L. ダイコン** ; *Brassica campestris* L. subsp. *Rapa* HOOK. et ANDERS. カブ**

滝沢・秋山(1935)は満洲(現在の中国東北地区)で原種の研究をし、以上のほかハクサイ、タマナ、タカナ、カラシナ、ナズナなどを記録している。ヨーロッパの原種もアブラナ科を食う。

59. *Eriocampa albipes* MATSUMURA, 1912 シロアシマルハバチ

Alnus japonica STEUD. ハンノキ**

他のハンノキ類ではみたことがない。

60. *E. mitsukurii* ROHWER, 1910 ミツクリハバチ

- Alnus kirsuta* TURCZ. var. *sibirica* C.K. SCHN.
ヤマハンノキ**
他のハンノキ類で幼虫をみたことがない。
61. *Eriocampopsis subtruncata* TAKEUCHI, 1952 ニセシロアシマルハバチ (新称)
Cimicifuga simplex WORMSK. var. *remosa* MAXIM.
サラシナショウマ**
OKUTANI (1956) はアカショウマを記しているが、食草の同定誤りである。
62. *Nesotaxonus flavescens* (MARLATT, 1898) チャイロハバチ
Paederia scandens MERRILL. ヘクソカズラ**
63. *Hemibeleses nigriceps* TAKEUCHI, 1929 アカネハバチ
Rubia cordifolia L. var. *Munjista* MIQ. アカネ**
64. *Empronus obsoletus* MALAISE, 1935 コガシラハバチ
Polygonum cuspidatum SIEB. et ZUCC.? イタドリ?
富樫によって産卵が確認されている。
65. *Ametastegia gercanii* (TAKEUCHI, 1929) フウロソウハバチ
Geranium nepalense SWEET. ゲンノショウコ**
66. *A. polygoni* TAKEUCHI, 1929 イタドリクロハバチ
Polygonum cuspidatum SIEB. et ZUCC. イタドリ**
67. *A. otogirii* OKUTANI, 1956 オトギリソウハバチ (新称)
Hypericum sp. オトギリソウの1種**
68. *A. suibai* OKUTANI, 1956 スイバハバチ (新称)
Rumex spp. スイバ類 (*R. Acetosa* L. スイバ**;
R. japonicus HOUTTUYN. ギンギン**)
69. *Asiemythus albilabris* (TAKEUCHI, 1929) ツマジロハバチ
Deutzia crenata SIEB. et ZUCC. ウツギ**
70. *A. deutziae* (TAKEUCHI, 1929) ウツギハバチ
Deutzia crenata SIEB. et ZUCC. ウツギ**
71. *A. vexator* (SMITH, 1874) ツノジロホソハバチ
Deutzia crenata SIEB. et ZUCC.* ウツギ**
72. *Emphytus albicinctus* (MATSUMURA, 1912) シロオビクロハバチ
Filipendula spp. シモツケソウ類 (*F. multijuga* MAXIM. シモツケソウ; *F. purpurea* MAXIM. ナツユキソウ; *Rubus phoenicolasius* MAXIM. エビガライチゴ; *Rosa rugosa* THUNB. ハマナス
73. *E. nakabusensis* TAKEUCHI, 1929 サクラセグロハバチ
Prunus yedoensis MATSUM. ソメイヨシノ**
他のサクラ類については不明である。
74. *E. meridionalis* TAKEUCHI, Stat. nov. オオシロオビクロハバチ (新称)
1933 TAKEUCHI *Emphytus albicinctus* MATSUMURA var. *meridionalis*, Trans. Kansai ent. Soc. 4:29
Rosa spp. バラ類 (*R. hybrida* HORT. セイヨウバラ**;
R. Luciae FRANCH. et ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA ヤブイバラ**;
R. multiflora THUNB. ノイバラ**;
R. banksiae R. BR. モッコウバラ**;
Fragaria chiloensis DUCH. var. *canadensis* BAILEY オランダイチゴ
75. *Apethymus kuri* TAKEUCHI, 1952 クリハバチ
Castanea crenata SIEB. et ZUCC. クリ**
76. *Allantus luctifer* (SMITH, 1874) ハグロハバチ
Rumex spp. スイバ類 (*R. Acetosa* L. スイバ**;
R. japonicus HOUTTUYN. ギンギン**;
R. domesticus HARTM. ノダイオウ**); *Polygonum cuspidatum* SIEB. et ZUCC. イタドリ**
77. *A. nigrocaeruleus* (SMITH, 1874) タデハバチ
Polygonum Thunbergii SIEB. et ZUCC. ミゾソバ**
78. *Taxonus fulvicornis* MATSUMURA, 1912 ツノキクロハバチ
Polygonum cuspidatum SIEB. et ZUCC. イタドリ**
79. *T. hirasanus* (TAKEUCHI, 1929) ヒラサンハバチ
Palura Chinensis KOIDZ. var. *leucocarpa* HARA* サワフタギ**
80. *T. japonicus* TAKEUCHI, 1929 バラクロハバチ (新称)
Rosa Luciae FR. et ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA* ヤブイバラ**
他のバラ類も食うと思われる。
81. *T. minomensis* (TAKEUCHI, 1929) ツマジロハバチモドキ
Rosa Luciae FR. et ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA* ヤブイバラ**;
Rubus parvifolius L.* ナワシロイチゴ;
Agrimonia Eupatoria L. var. *pilosa* MAKINO* キンミズヒキ
82. *Takeuchiella pentagona* MALAISE, 1935 ダイズハバチ
Glycine spp. ダイズ類 (*G. max* MERRILL. ツルマメ;
G. Soja SIEB. et ZUCC. ダイズ)

83. *Rhadinoceraea opacicollis* MALAISE, 1931 ニセヒゲナガクロハバチ
Sambucus Sieboldiana BLUME ニワトコ**
84. *Phymatocera nipponica* TOGASHI, 1958 ヒゲナガクロハバチ
Polygonatum spp. ナルコユリ類 (*P. officinale* ALL.* アマドコロ**; *P. falcatum* A. GRAY* ナルコユリ**)
85. *Phymatoceroopsis japonica* (MALAISE, 1931) ヒゲナガマルハバチ
Sambucus Sieboldiana BLUME ニワトコ**
86. *Tomostethus nigrinus* (FABRICIUS, 1804) ヤチダモハバチ
Fraxinus spp. トネリコ類 (*F. mandshurica* RUPR. var. *japonica* MAXIM. ヤチダモ; *F. excelsior* L. セイヨウトネリコ)
朝鮮での記録であるが、ヨーロッパでも同属が食草であるから確実であろう。
87. *Eutomostethus juncivorus* (ROHWER, 1924) イハバチ
Juncus spp. イ類 (*J. effusus* L. var. *decipiens* BUCH. イ*; *J. setchuensis* BUCHEN var. *effusoides* BUCHEN* ホソイ**)
素木 (1954) のシチトウイは誤りであろう。
88. *Paracharactus leucopodus* ROHWER, 1910 ムネアカシアハバチ
Smilax china L.* サルトリイバラ**
89. *Pericrista albida* (KLUG, 1814) コナラシロハバチ (新称)
Quercus spp. カシワ類 (*Q. serrata* THUNB. コナラ**; *Q. acutissima* CARRUTH. クスギ**; *Q. dentata* THUNB. アベマキ**)
素木 (1954) はカン類としているが、落葉性のものだけであるから、カシワ類と記したい。
90. *Waldheimia japonica* (MOCŠÁRY, 1880) キイロハバチ
Clematis paniculata THUNB. センニンソウ**
91. *Nesotomostethus lewisii* (KIRBY, 1882) ルイスアカマルハバチ
Clematis apiifolia DC. ボタンズル**
92. *N. religiosa* (MARLATT, 1898) クロバアカマルハバチ
Clematis apiifolia DC. ボタンズル**
93. *Stethomostus fuliginosus* (SCHRANK, 1781) ウマノアシガタハバチ
Ranunculus spp. キンボウゲ類 (*R. acris* L. var. *japonicus* MAXIM. ウマノアシガタ**; *R. glaber* MAKINO キツネノボタン**)
ヨーロッパでもキンボウゲ類を食う。
94. *Megatomostethus crassicornis* (ROHWER, 1910) ヒゲブトマルハバチ
Clematis apiifolia DC. ボタンズル**
95. *Apareophora japonica* TAKEUCHI, 1952 シモツケマルハバチ (新称)
Spiraea japonica L. シモツケ
96. *Pareophora gracilis* TAKEUCHI, 1952 サクラホンハバチ
Prunus spp. サクラ類 (*P. yedoensis* MATSUM. ソメイヨシノ**; *P. Buergeriana* MIQ. イヌザクラ**; *P. granata* MAXIM. ウワミズザクラ**; *P. puciflora* BUNGE シナミザクラ**)
97. *Ardis brunniventris* (HARTIG, 1873) バラクキハバチ
Rosa Luciae FR. et ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA ヤブイバラ**
幼虫は若芽に穿孔する。
98. *Caliroa cerasi* LINNÉ, 1758 オウトウナメクジハバチ
Prunus spp. サクラ類 (*P. Avium* L. セイヨウミザクラ; *P. yedoensis* MATSUM. ソメイヨシノ); *Pyrus* spp. ナシ類 (*P. pyrifolia* NAKAI var. *culta* NAKAI ナシ; *P. communis* L. セイヨウナシ); *Cydonia oblonga* MILLER マルメロ
以上は内池 (1926) によった。ヨーロッパでは他にサンザシ類、ナナカマド類などもっと広範囲の食草が記録されている。
99. *C. matsumotonis* (HARUKAWA, 1919) モモナメクジハバチ
Prunus spp. サクラ類 (*P. Persica* BATSCH. モモ; *P. salicina* LINDLE スモモ**; *P. Avium* L. セイヨウミザクラ; *P. yedoensis* MATSUM. ソメイヨシノ); *Pyrus pyrifolia* NAKAI var. *culta* NAKAI ナシ
以上は春川 (1930) によった。
100. *C. oishii* TAKEUCHI, 1933 コナラナメクジハバチ
Quercus spp. カシワ類 (*Q. serrata* THUNB. コナラ**; *Q. mongolica* FISCH. var. *grosseserrata* REHD. ミズナラ**)
101. *C. staphylae* OISHI, 1961 ミツバウツギナメクジ

ハバチ

- 1961 *Caliroa saphylae* OISHI, *Fukusima-seibutsu* 1: 37~38.
- 1965 *Caliroa staphylea* OKUTANI, **Syn. Nov.**
Staphylea Bumalda DC. ミツバウツギ**
102. *C. vaccini* OKUTANI, 1956 ナツハゼナメクジハバチ
チ
Vaccinium Oldhami MIQ. ナツハゼ**
103. *C. zelkovae* OISHI, 1961 ケヤキナメクジハバチ
1961 *Caliroa zelkovae* OISHI, *Fukusima-seibutsu* 1: 34~37.
1965 *Caliroa zelkova* OKUTANI, **Syn. Nov.**
Zelkova serrata MAKINO ケヤキ**
104. *Metallus albipes* (CAMERON, 1875) キイチゴハム
グリハバチ
Rubus crataegifolius BUNGE クマイチゴ**
ヨーロッパでもキイチゴ類を食う。
105. *Fenusa dornhi* (TISCHBEIN, 1846) ハンノハムグ
リハバチ
Alnus japonica STEUD. ハンノキ**
他のハンノキ類も食うものと思われる。ヨーロッパ
でもハンノキ類を食う。
106. *F. pusilla* (LEPELETIER, 1823) シラカバノクロボ
シハムグリハバチ
Betula spp. カンバ類 (*B. platyphylla* SUKATCHEV.
var. *japonica* HARA シラカバ; *B. verrucosa* EHRH.
ヨーロッパシラカバ; *B. populifolia* MARSH. ポプリ
フォシラカバ)
以上は井上 (1963) によった。ヨーロッパ, 北米で
もカンバ類を食害する。
- 本亜科に属する *Empria quadrimaculata* TAKEUCHI
マドハバチの食草として, OKUTANI (1956) はダイコン
ソウをあげたが, 近似種多く種名に疑問があるので省い
た。

Heterarthrinae ハムグリハバチ亜科

107. *Heterarthrus wüsteneii* KONOW, 1905 ハンノエン
バンハバチ (新称)
Alnus spp. ハンノキ類 (*A. japonica* STEUD.* ハ
ンノキ**; *A. Inokumae* MURAI et KUSAKA* コバノ
ヤマハンノキ**; *A. crispa* PURSH. subsp. *Maximo-*
wiczii HULT. ミヤマハンノキ**)
ヨーロッパでは食草の記録がない。

Tenthredininae ハバチ亜科

108. *Corymbas aperta* (TAKEUCHI, 1919) コシジロ
ハバチ
Rhododendron macrosepalum MAXIM.* モチツツ
ジ**
109. *C. fujisana* (MATSUMURA, 1912) フジコシジロ
ハバチ
Abelia spp. ツクバネウツギ類 (*A. spathulata* SIEB
et ZUCC. コツクバネウツギ**; *A. serrata* SIEB. et.
ZUCC. ツクバネウツギ**)
110. *C. nipponica* TAKEUCHI, 1936 フトコシジロハバ
チ
Rubus spp. キイチゴ類 (*R. crataegifolius* BUNGE
クマイチゴ**; *R. trifidus* THUNB. カジイチゴ**; *R.*
microphyllus L.* ニガイチゴ; *R. parvifolius* L.* ナ
ワシロイチゴ**); *Geum japonica* THUNB. ダイコン
ソウ**
111. *Neocolochelyna itoi* TAKEUCHI, 1951 イトウハバ
チ
Actinidia arguta PLANCH. サルナシ
112. *Armitarsus punctifemoratus* MALAISE, 1931 ト
ゲアシハバチ
Alnus japonica STEUD. ハンノキ**
他のハンノキ類も食うと思われる。
113. *Siobla ferox* (SMITH, 1874) オオコシアカハバチ
Impatiens spp. ツリフネソウ類 (*I. Textori* MIQ.
ツリフネソウ**; *I. noli-tangere* L. キツリフネ**);
Polygonum cuspidatum SIEB. et ZUCC. イタドリ**;
Crisium peudulum FISCH.? オカアザミ, ?**;
Rumex
sp. スイバの1種
かなり雑食性と思われるが, 地域により好選に差が
あるようである。
114. *Pachyprotasis fukii* OKUTANI, 1961 フキシマ
ハバチ
Petasites japonicus MIQ. フキ**
115. *P. pallidiventrtris* MARLATT, 1898 コシマハバチ
Stellaria spp. ハコベ類 (*S. media* CRY. ハコベ**;
S. aquatica SCOP. ウシハコベ**)
116. *P. serii* OKUTANI, 1961 セリシマハバチ
Oenanthe stolonifera DC. セリ**
117. *P. volatilis* (SMITH, 1874) キモンハバチ
Adenophora triphylla A. DC. var. *japonica* HARA

- ツリガネニンジン**
ヨーロッパで食草の記録のある本属のものうち、次の3種がわが国に産する。
P. rapae LINNÉ ゴマノハグサ属、イヌゴマ属、アキノキリンソウ属、トネリコ属
P. antennata KLUG サワオグルマ属、シモツケソウ属、トネリコ属
P. variegata FALLEN バレイショ
118. *Macrophya apicalis* SMITH, 1874 ツマジクロクロハバチ
Sambucus Sieboldiana BLUME ニワトコ**
119. *M. carbonaria* SMITH, 1874 オオクロハバチ
Sambucus Sieboldiana BLUME ニワトコ**
120. *M. enslini* FORSIUS, 1925 ナカジクロクロハバチ
Ligustrum obtusifolium SIEB. et ZUCC. イボタ
121. *M. ignova* SMITH, 1874 クロハバチ
Rosa Luciae FR. et ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA ヤブイバラ**
他のバラ類も食うと思われる。本種は今日まで長い間トネリコを食うと思われていたが誤りである。なお、幼虫は枯葉でも生育する。
122. *M. malaisei* TAKEUCHI, 1937 マライセクロハバチ
Ligustrum obtusifolium SIEB. et ZUCC. イボタ**;
Syringa vulgaris L. ムラサキハシドイ**
123. *M. timida* SMITH, 1874 コクロハバチ
Ligustrum spp. イボタ類 (*L. obtusifolium* SIEB. et ZUCC. イボタ**;
L. japonicus THUNB. ネズミモチ**); *Syringa vulgaris* L. ムラサキハシドイ**
M. falcifica MOCÁRY シマクロハバチおよび *M. crassiformis* FORSIUS コマルクロハバチは成虫がイボタの葉を食うが、幼虫は未確認なので省いた。なお他に *M. sanguinolenta* (GMELIN) はヨーロッパでクワガタの1種、チシマオドリコの1種およびアワダチソウの1種を食うと記録されている。
124. *Aglaostigma albicincta* (TAKEUCHI, 1953) ウラシマソウハバチ
Arisaema spp. テンナンショウ類 (*A. Thunbergii* BL. var. *Urashima* MAKINO ウラシマソウ**;
A. serratum SCHOTT マムシグサ**)
125. *A. amoorensis* (CAMERON, 1876) バイケイソウハバチ
Veratrum spp. バイケイソウ類 (*V. stamineum* MAXIM. コバイケイソウ**;
V. album L. var. *grandiflorum* MAXIM* バイケイソウ**
126. *A. nebulosa* (ANDRÉ, 1881) ウンモンアシナガハバチ
Impatiens Textori MIQ. ツリフネソウ**
127. *A. occipitosa* (MALAISE, 1931) ハラアカアシナガハバチ
Petasites japonicus MIQ. フキ; *Angelica polymorpha* MAXIM. シラネセンキュウ
他のシシウド類も食うと思われる。
128. *Lagidina irritans* (SMITH, 1874) クロムネハバチ
Glechoma hederacea L. カキドオシ**
129. *L. platycerus* (MARLATT, 1898) ヒゲナガハバチ
Viola spp. スミレ類**
幼虫を食草上で得たことがないので、自然状態の食草は不明であるが、スミレ、ニヨイスミレなどでよく飼育できる。
130. *Perineura okutanii* TAKEUCHI, 1959 アジサイハバチ
Hydrangea macrophylla SERINGE ガクアジサイ**
131. *P. pictipennis* TAKEUCHI, 1959 イワガラミハバチ (新称)
Shizophragma hydrangeoides SIEB. et ZUCC. イワガラミ**
132. *Rhogogaster nigriiventris* MALAISE, 1931? クロハラセマダラハバチ?
Rosa sp. バラの1種 (*R. Luciae* FR. et ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA? ヤブイバラ? **)
133. *R. varipes* (KIRBY, 1882) セマダラハバチ
Rosa Luciae FR. et. ROCHEBR. var. *Onoei* MOMIYAMA ヤブイバラ**
他のバラ類も食うと思われる。
素木 (1952) の記した *R. viridis* LINNÉ はわが国には産しない。
134. *Propodea fentoni* (KIRBY, 1882) ツマグロハバチ
Euptelea polyandra SIEB. et ZUCC. フサザクラ**
フサザクラのない所でも得られるから、他の食草があると思われる。
135. *Tenthredina flavida* (MARLATT, 1898) トガリハチガタハバチ
Tricyrtis macropoda MIQ. ヤマホトトギス**;
Lilium Makinoi KOIDZ. ササユリ**;
Cardiocrinum cordatum MAKINO ウバユリ**;
Smilax spp. シオデ類 (*S. Oldhami* MIQ. シオデ**;
S. china L. サルトリイバラ**)
136. *T. matsumurai* TAKEUCHI, 1933 ハチガタハバチ

Smilax china L. サルトリイバラ**

他のシオデ類も食うと思われる。

137. *T. nigropicta* (SMITH, 1874) クロムネアオハバチ
Pleioblastus distichus MUROI et H. OKAM. var.
nezasa MUROI et H. OKAMUR.* ネザサ**

他のササ類も食うと思われる。

138. *Tenthredo analis* (ANDRÉ, 1881) マエグロコシ
ボソハバチ

Abelia spp. ツクバネウツギ類 (*A. spathulata*
SIEB. et Zucc. ツクバネウツギ**; *A. serrata* SIEB.
et Zucc. コツクバネウツギ**)

139. *T. fegi fuscigera* KONOW, 1899 オオツマジロハバ
チ

Angelica polyclada FRANCH. シシウド**

原種にはナナカマドの1種、セイヨウハシバミが記
録されているので、この記録は真の食草でないかも知
れない。

140. *T. fukaii* (ROHWER, 1910) ヤマブキハバチ
Kerria japonica DC. ヤマブキ**

141. *T. ferruginea* SCHRANK, 1776 ツノジロナカアカ
ハバチ (新称)

Veratrum album L. var. *grandiflorum* MAXIM.
バイケイソウ

ヨーロッパでの食草はナナカマドの1種、ヤナギ
類、ハンノキ類、キイチゴ類、サクラ類、ワラビが記
録されているので、この記録は誤りかと思われる。

142. *T. hiralis* SMITH, 1874 ハラナガクロハバチ
Aucuba japonica THUNB.* アオキ**

143. *T. gifui* MARLATT, 1898 コシアキハバチ
Stellaria spp. ハコベ類 (*S. media* CRY. ハコベ**;
S. aquatica SCOP. ウシハコベ**)

本種の食草に渡辺(1937)はコブシを、素木(1954)
はヒメコブシをあげているが誤りである。

144. *T. mortivaga* MARLATT, 1898 キコシボソハバチ
Stellaria spp. ハコベ類 (*S. media* CRY. ハコベ**;
S. aquatica SCOP. ウシハコベ**); *Cerastium caespit-*
osum GILIB. var. *ianthes* HARA ミミナグサ**

145. *T. nigerrima* FORSIUS, 1918 フキノクロハバチ
(新称)

Petasites japonicus MIQ. フキ**

ヨーロッパでの食草は未知である。

146. *T. providens* SMITH, 1874 オオツマクロハバチ
Oenanthe stolonifera DC. セリ**; *Cryptotaenia*
canadensis DC. ミツバ**; *Peucedanum decursivum*

MAXIM.* ノダケ**; *Angelica polyclada* FRANCH?*
シシウド？**

セリ科を広く食うものらしい。

T. mesomelas LINNÉ があげられた記録があるが、わ
が国には産しない。

以上のほかかなりの数の未同定種を得ている。所
で、一般にハバチ類は突発的に大発生をし、大被害を与
えることが多いので、ENSLIN (1912~1917) の中欧およ
び KONTUNEMI (1960) の北欧の記録を参照し主な有用
植物について考察してみた。

有用植物を加害するハバチ類の種類数

植 物 名	日 本	ヨーロ ッ パ	
		ENSLIN	KONT
オ オ ム ギ	2種	?種	2種
コ ム ギ	2	3	5
ダ イ コ ン 等	3	3	2
バ ラ	13	29	25
ナ シ	—	9	3
モ モ, サ ク ラ	10	14	11
ト ウ ヒ・モ ミ	7	20	27
カ ラ マ ツ	13	10	7
マ ツ 類	11	22	22
ヤ ナ ギ 類	10	79	151
カ ン バ 類	3	37	33
コ ナ ラ 類	3	20	9
キ イ チ ゴ 類	9	29	25

本表よりカラマツのように、わが国の方が多いもの
や、ダイコン、コムギのようにほとんど同数のものでは、
これ以上ハバチ類による被害はほとんど考えられな
いが、ヤナギ、カンバ等のようにヨーロッパの10分の1以下
しか知られていない植物ではかなりまだ発見される余地
があるものと考えられる。特に針葉樹のトウヒ・モミ類
ではネマツス亜科の加害種がわが国より全く知られてい
ないことは、今後大いに警戒を要すると思われる。

引 用 文 献

- ENSLIN, E. (1912~1917) *Die Tenthredinoider Mitteleu-*
ropas, Beih. Deut. Ent. Ziet., 790 pp.
春川忠吉 (1930) 桃葉蜂に関する研究. 農事改良資料 14: 1~
39.
五十嵐良造・伊藤春男 (1963) オオムネアカハバチに関する研
究. 宮城農試報 33: 57~65.
井上元則 (1963) シラカバノクロボシハムグリハバチについて.

- 北方林業 166: 20~23.
- 菊池立身(1939) 虫癭を造るヤナギフシハバチ(新称) *Pontania viminalis* L. について. 動維 51: 766~772.
- KONTUNIELMI, T. (1960) *Die Futterpflanzen der Sagewepelarven Finnlands*. Animalia Fennica 9. Helsinki, 104 pp.
- MALAISE, R. (1931) Blattwespen aus Wladiwostok und anderen tielen Ostasiens. Ent.Tidskr. 51: 97~159.
- 大石俊雄(1961) わが国における *Caliroa* 属葉蜂. 福島生物同好会誌 1: 29~38.
- OKUTANI, T. (1954) Studies on Symphyta (I) Symphyta of Sasayama with description of a new species. 兵庫農大研報 1 農学編: 75~80.
- 奥谷楨一(1959) 日本幼虫図鑑, 北隆館, 東京, 548~582.
- OKUTANI, T. (1965) The Japanese sawflies of the genus *Caliroa*, with description of its larval character. Jap. J. Appl. Ent. Zool. 9: 29~33.
- 進士織平(1944) 虫癭と虫癭昆虫, 春陽堂, 東京, 500 pp.
- 素木得一(1952) 昆虫の分類, 北隆館, 東京, 961pp.
- TAKEUCHI, K. (1933) Undescribed sawflies from Japan. Trans. Kansai ent. Soc. 4: 17~34.
- TAKEUCHI, K. (1941) A systematic study on the suborder Symphyta of the Japanese Empire. (IV) Tenthredo 3: 230~247.
- TAKEUCHI, K. (1949) A list of the food-plants of Japanese sawflies. 関西昆報 14: 47~50.
- 滝沢求・秋山武雄(1935) テフセンカブラハバチに就いて. 昆虫 9: 207~220.
- 内池俊雄(1926) 恐るべき果樹の大害虫 ウチイケアウタウハバチの研究. 昆世 30: 38~47.
- 渡辺福寿(1937) 日本樹木害虫目録, 丸善, 東京, 5~8.

抄

録

ピンセンチュウの1種における第4期幼虫の脱皮に関する観察

Fisher, J. M. (1966) Observations on moulting of fourth-stage larvae of *Paratylenchus nanus*. Aust. J. Biol. Sci., 19: 1073~1079.

植物寄生線虫の脱皮に関する研究は, 昆虫や動物寄生線虫の場合に比べて 非常におくれており, ごくわずかの観察例があるにすぎない. Rhoades ら(1959) はある種の植物根の浸出液がある種の *Paratylenchus* の第4期幼虫の脱皮を促進することを報告している。ここでは *Paratylenchus nanus* の第4期幼虫の脱皮に対する アンズの根浸出液の影響を調べた。

あらかじめ無菌的に育てた 3~4 葉のアンズ幼苗の根を 20℃で14時間暗黒条件下で蒸留水に浸漬して浸出液を調整し, これを 5℃に貯蔵して実験に供した。線虫はリンゴ園から採集して供試した。小型シラキウス時計皿に 2ml の浸出液を入れ, この中

に第4期幼虫を収容して線虫の脱皮を観察した。まず浸出液の耐熱性を知るため, 5分間煮沸し, 煮沸しない液および蒸留水との間の効果を比べたところ, 非煮沸液に比べ煮沸液と蒸留水では明らかに脱皮虫の出現率が劣り, 浸出液は煮沸によって効力を失うことがわかった。また温度条件は20℃が最適であり, 15℃では脱皮の進行がきわめて遅く, 25℃および30℃では少数の個体が脱皮しただけであった。浸出液の pH を 4.0, 6.0, および 7.0 に変えてみたが, これらの間ではその効果に差はみられなかった。2年生のアンズ苗を休眠状態にした根の浸出液は効果がほとんどなかった。線虫を 20℃で1日間ないし14日間液に浸漬したばあい, 浸漬時間の長短により脱皮虫の出現率に差はみられず, 刺戟効果ははじめの24時間以内に発現すると考えられる。虫体を食道部と腸管部の接合部を境に前方と後方で結紮したところ, ごく少数の成功例から, 後部結紮虫で体前部の脱皮が正常に起こり後部虫体はもとのままであった。このことは刺戟の受容中枢が虫体の前半部に存在することを示している。

(農技研 中園和年)